

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 イザ 35:6-7…………… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …………… 180番
- *交読文 …………… 23番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 174番
- 礼拝のための祈り ……… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …………… 177番
- メッセージ …………… 信じる人に働くイエスの御名の爆発的な力(使徒 3:1-4:4)
- 御言葉を適用する祈り …… 会衆一同
- 賛美 …………… 169番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 ……………
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈祷課題

- ・この教会が天の声、すなわち御言葉なるキリストに聞き従い、御心を行う教会であるように
- ・兄弟姉妹達が御言葉をたくわえ、昼も夜も口ずさみ、出るにも入るにも祝福されるように
- ・聖霊に満たされ、弟子の舌が与えられ、大胆にキリストを伝えられるように
- ・主を愛し、御言葉に忠実な、御霊に満ちた働き人、70名が与えられるように
- ・病、貧しさ、悲しみ、捕われの内にある兄弟姉妹のいやし、慰め、解放のために
- ・終末の災い(戦争、地震、飢饉など)に実際に直面している世界の兄弟姉妹達のために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

荒野と乾いた地とは楽しみ、砂漠は喜びて花咲き、サフランのように、盛んに花咲き、かつ喜び楽しみ、かつ歌う。これにレバノンの栄えが与えられ、カルメルおよびシャロンの麗しさが与えられる。彼らは主の栄光を見、我々の神の麗しさを見る。____は弱った手を強くし、よろめくひざを健やかにせよ。心おののく____に言え、「強くあれ、恐れてはならない。見よ、____の神は報復をもって臨み、神の報いをもってこられる。神は来て、____を救われる」と。その時、見えない人の目は開かれ、聞えない人の耳は聞えるようになる。その時、足の不自由な人は、鹿のように飛び走り、口のきけない人の舌は喜び歌う。それは荒野に水がわき井で、砂漠に川が流れるからである。焼けた砂は池となり、かわいた地は水の源となり、山犬の伏したすみかは、葦、よしの茂りあう所となる。(イザヤ 35:1-7)

弟子達は、聖霊様のご支配に満たされて以降、力強く大胆にイエス・キリストを証するようになり、多くの人々をキリストにある救いへと、永遠の命へと導いて来た。今回も、聖霊様のご支配に満たされた人はどのような事を為し、人々にどのような影響を与えるのか、使徒行伝から学びたい。

ある生まれつき足の萎えた男がいた。彼は毎日、宮の「美しの門」の入り口に運んでもらって、そこで施しを求める日々を送っていた。足萎えの人は美しの門から入って礼拝する事は禁じられている。来る日も来る日も、ただ宮の門まで運んでもらって、人々の施しを求めるだけ。そうして40歳を過ぎるまでに至った。ある日、礼拝に来た二人の男達に、いつものように施しを求めた所、彼らはじっとこちらを見つめ、「私達を見なさい」と言う。今まで無かった言葉をかけられ、期待して彼らを見た。男は言った。「金銀は私にはない。しかし、私にあるものを上げよう。ナザレのイエス・キリストの名によって、歩きなさい。」(6節)そして、右手を取って立たされたると、たちまち足とくるぶしが強くなり、歩き、おどりがる事が出来るようになった。彼は大きな喜びと共に、この二人 一使徒ペテロと使徒ヨハネー と一緒に、一度もぐった事の無かった「美しの門」から入り、宮の中に入って、誰よりも大声で神を誉めたえ賛美しながら歩いた。神を賛美しながら…癒やされたとたんに神への賛美が出てくる点こそ、彼の癒される素地であった。彼はイエスを知っており、信じており、弟子達の口を通して語られたその「イエスの名」によって癒やされたのだ。40年、彼の足が萎えていた事、その40年の苦しんできた日々は、一転して、神の栄光を、イエスの栄光を現す日々と化した。主に望みを置く人は全てこうなる。「その時、足の不自由な人は鹿のように飛び走り、口のきけない人の舌は喜び歌う。それは荒野に水がわきいで、砂漠に川が流れるからである。」(イザ 35:6)

多くの人々が驚き、集まって来た。なにしろ、宮に行く度に美しの門の所で何十年も必ず見て来た、あの、施しを求めていた足萎えの男が、足が丈夫になって宮に入り、踊り上がりながら賛美しているのだから。ペテロは人々の有様を見て、メッセージする。「イスラエルの人達よ、なぜこの事を不思議に思うのか。また、わたしたちが自分の力や信心で、あの人を歩かせたかのように、なぜ私達を見つめているのか。」彼が強くされ癒されたのは、ペテロ達の信仰や力ではない。あなたがたが十字架につけ、死なせ、しかしよみがえられた「イエスの名が、それを信じる信仰の故に、あなたがたのいま見て知っているこの人を強くしたのであり、イエスによる信仰が、彼をあなたがた一同の前でこの通り完全に癒やしたのである。」(16節)ペテロがメッセージで言わんとしている事は、前回と全く同じである。すなわちイエスというお方について。神はこのイエスを、預言者を通し、また奇跡やしるしを通して、救い主として認証された。しかし「あなたがた」は彼を十字架につけ、殺した。しかし神はこのイエスを死者の中からよみがえらせた。自分達はその証人であり、そしてこのイエスの御名を信じる信仰によって、この、素晴らしきわざが起きたのだ、と。「だから、自分の罪をぬぐい去っていたがために、悔い改めて本心に(神に)立ちかえりなさい。」(19節)これら一連の事こそペテロがいつも語っている事であり、私達も宣教において語るべき事柄である。

一方、この素晴らしい出来事を見て、歯ざりりする者もいた。それは、神の御子イエス・キリストが生きていては困る人達、自分が王の座に座り続けていたい者達である。彼らは、ペテロとヨハネを捕らえ、留置した。それでも今回のこの出来事で、多くの人々が信じ、男の数だけでも五千人になった。(4:1-4)このように、主イエスの復活のいのちは爆発的な力を持っており、福音は聖霊充滿の人を通して、すなわち聖霊様はその人の支配の王座に座し、聖霊様に支配され、突き動かされ、聖霊様から見せられ、思わせられ、語らせるまま行動する人たちを通して、力としるしをもって爆発的に広がって行くのである。いかに自立出来ないまま40を過ぎてしまった人でも、自分の足で立って強く耐えらるよう癒され、長年の苦しみと恥を嘗めて来た日々は、一転して神の栄光を、イエス様の栄光を現す日々へと転換する。しかし、イエス様に望みを置かないなら、いつまでも人のやっかいになって、礼拝者から施しを求め続ける人生から離れられない。「彼に聞き従わない者は、みな民の中から滅ぼし去られる(23節)」と書いてあるからだ。私達も、肉のわざと価値観で生きる事を捨て、聖霊様の支配下に服する事を日々選んで行くべきだ。聖霊様に満たされ、イエス様を大胆に証する皆さんでありますように！イエス様のお名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → [youtube.com/c/横浜天声キリスト教会](https://www.youtube.com/c/横浜天声キリスト教会)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30~
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00~

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:30~

水曜礼拝

1部 13:00~
2部 19:30~

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube